

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成31年3月14日 (2019.3.14)

【公表番号】特表2018-506990(P2018-506990A)

【公表日】平成30年3月15日 (2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-010

【出願番号】特願2017-546911(P2017-546911)

【国際特許分類】

A 0 1 K 15/02 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 15/02

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月29日 (2019.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動物訓練補助具、玩具または装置に使用する匂い付き挿入物であって、
基材であって、前記基材の上におよび / または前記基材の中に、マイクロカプセル封入された匂い付き材料を有する基材、

前記基材上の匂いに対して実質的に不透過性であるコーティング、および

前記匂い付き挿入物用のキャリア中で前記挿入物の方向を合わせるように操作可能な少なくとも 1 つの戻り止め、を含み、かつ

前記匂い付き材料が、前記挿入物が不活性状態にあるとき、動物にとって望ましい匂いを実質的に放出せず、前記挿入物が活性状態にあるとき、前記動物にとって望ましい匂いを放出する、匂い付き挿入物。

【請求項 2】

使用の際、前記匂い付き挿入物が、前記コーティングを摩滅することにより活性化されて、前記マイクロカプセル封入された匂い付き材料から匂いを放出する、請求項 1 に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 3】

前記匂い付き材料が、前記基材の表面の少なくとも一部に被覆されている、請求項 1 または 2 に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 4】

前記匂いが、フェロモン、肉、卵、乳製品、野菜または果実の匂いの少なくとも 1 種を含む、請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 5】

前記コーティングが、高分子材料を含む、請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 6】

前記基材が、多孔質材料を含む、請求項 1 ないし 5 のいずれか一項に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つの戻り止めが、前記キャリア中における前記挿入物の動きを抑制する、請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つの戻り止めが、前記挿入物の周辺部から伸びている、請求項 1 および 7 のいずれか 一項 に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 つの戻り止めが、前記キャリア中に配置されたとき、前記挿入物の回転運動を抑制する、請求項 1 ないし 8 のいずれか 一項 に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 10】

前記挿入物が、ディスクの形態にある、請求項 1 ないし 9 のいずれか 一項 に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 11】

少なくとも 1 つの戻り止めが、前記ディスクの周辺部から半径方向に伸びている、請求項 10 に記載の匂い付き挿入物。